



「異学年交流を通して」

鶴喜小学校では、一・二年生で異学年交流を行っています。一学期は、「学校探険」と「かしわ餅作り」を行いました。

「学校探険」は、一・二年生を縦割班に分けて、二年生が一年生を案内して学校の中を見て回ります。今まで一番下の学年で、世話をしてもらうばかりだった二年生が、初めて一年生の世話をするので、自分が大きくなったことを実感する瞬間です。

「かしわ餅作り」の日、教室で身じたくをしていると、「三角巾、結んであげようか。」と二年生が顔をのぞかせてくれました。もう、二年生らしさが育ちつつあるのがうれしかったです。家庭科室では、縦割班に分かれてかしわ餅作りに取りかかりました。だんごの粉をこねるのも子ども達がおこないました。一班は六・七人なので、全員同時には手が出せません。見ていると、二年生がこねる順番を決めてくれていました。ひとりが三個ずつ作りました。一つ

は、皆で試食しました。あんこが嫌いで食べない子も、自分たちで作ったかしわ餅は格別で、おいしそうにほおばっていました。二つめは、お家にもって帰って食べてもらいました。残る一つは、いま一番お世話になっている人、先生方と六年生におすそ分けしました。六年生に、「おいしかったよ。ありがとう」と言われてうれしそうな子ども達でした。

二学期には、学校の田んぼで採れたさつまいもを使って「おいもパーティー」を、三学期には、よもぎの芽を摘んで、「よもぎ入り蒸しパン」を計画しています。

異学年交流活動が終わったら、必ず振り返りの時間をとることにしています。そして、活動をして思ったことや感じたことを、言葉や絵にして伝え合うことにしています。この異学年交流を通して、子ども達にありがとうという感謝の気持ちがあり、人に喜んでもらうとうれしいという感覚を味わってほしいと願っています。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

鶴喜小学校 葛原 真知子

「公民館だより」シリーズ②

行儀作法も楽しく 『伝統文化こども教室』

郷公民館で開催しているこの教室は、文化庁の委託を受けた伝統文化活性化国民協会の主催により、装道と装礼法こども教室実行委員会で行っているものです。

次世代を担うこども達が体験・修得することにより歴史や伝統文化に関心を持ち、豊かな人間性を養うことが目的です。教室では、最初に着物をひとりで着付けします。そして、着物姿でお作法を学びます。正しいおじぎの仕方から始まり、座布団の裏表を確かめ、お客様への勧め方、自分が美しく座する方法を修得します。全12回の教室では、お茶の頂き方、物の受け渡し方、ふすまの開閉の仕方などを楽しく学んでいきます。

普段とは少し趣の変わった静かな動作も、違和感なく真剣に行っているこども達です。「家でも子どもから教えられる事がよくあります。大変良い勉強になるので、まだ続けてほしい。」との声も多く、19年度も教室を開講します。

小学生のみなさん、いっしょに学びましょう。

興味のある方は、7月14日（土）までに郷公民館へお申し込み下さい。

鏡野町郷公民館 西村 光子

